

# ★親子で星空さんぽ★

## 第8夜「オリオン座と冬の星座」

～ 今夜のテーマは「冬の夜空に輝く勇者オリオン」のお話し ～

山のあちこちは雪で白くなりました。冬には空気が澄んで、星がきれいに見える季節です。

2～3日前に、すごいニュースがありました。日本の惑星探査機あかつきが、再チャレンジで金星をまわる軌道に入りました。可能性があればあきらめないということを私たちも見習いたいですね。さて2日前までとてもいい星空でしたが、昨日から天気がくずれました。今夜も残念ながらいいお天気ではありません。そこで今夜はCDを使った分光器(ぶんこうき)を作ってみたいと思います。光の分解するといろいろなことがわかるようになります。今の天文学は分光器によって遠くの星に何があるか調べています。

### ■冬の星座を代表するオリオン座

オリオン座は、巨人の狩人の姿だとされています。ギリシア神話でオリオンは海の神ポセイドンとクレタ島のミノス王の王女エウリュアレの子で、海の上を歩くことが出来たと言われています。またオリオンは動物を次々につかまえて、地上から動物がいなくなるほどで、やがてクレタ島で月と狩りの女神アルテミスと出会いました。オリオンはアルテミスが好きになり、アルテミスもたくましいオリオンに心を寄せていました。それを知ったアルテミスの兄、太陽の神アポロンは、乱暴者でむやみに動物をつかまえてしまうオリオンをよく思っていないでした。

そこでアポロンは大地の神ガイアにたのんで巨大なサソリをさしむけたのです。オリオンはサソリにおそわれ、びっくりして海ににげこみました。海を自由に歩けるオリオンです。顔だけ出したまま、沖へ向かっていました。アポロンは海の上に突き出しているオリオンの頭に、金色の光を吹きつけました。そして、なにくわぬ顔でアルテミスのもとを訪れ、「いかにお前が弓の名手でも、あの波間に漂う金色のものを射抜くことはできないだろう」と言ったのです。アルテミスは弓と矢を手にとると、その金色のものがオリオンの頭だとは知らず、見事それを打ち抜いてしまったのです。

やがて、死んでしまったオリオンが波打ち際に打ち上げられ、その頭に突き刺さった自分の矢を見てアルテミスは、自分がオリオンを殺してしまったことを知ったのです。深く悲しんだアルテミスは、「私が銀の馬車で夜空を走っていく時、いつでもオリオンに会えるよう彼を星座にしてください...」と神々の王様ゼウスたのみ天に上げて星座になったのだといわれています。

別の物語ではオリオンはサソリの毒で死んでといわれ、この手柄でサソリは星座となり天に上げられました。オリオン座も星座になりましたが、今でもさそり座が東の空から昇ると、オリオン座は逃げ去るように、西の空に沈むのです。またさそり座が西の空に沈むとオリオン座が東の空から昇るのだといわれています。

### ■次回1月15日(金)は「月と惑星のお話」午後7時からです。

次回はいつもは気が付かないけれど、地球にとって身近な月と、太陽系の惑星についてです。どうぞお楽しみに!!